

平成 28 年度 教育研究協議会（国語）

国語科：鈴木康弘 池田昌史

1年C組のみなさんと童話「寂しいお魚」（別役実）を読み深めるための「問い」の設定を試みました。話し合いは、子どもたちの作品のとらえ（結末がバッドエンドなのか、ハッピーエンドなのか）に基づくものからはじまりました。そして、そのとらえがどの叙述に基づくものなのかを思考する中で、主人公の女の子が、最後の場面で味わったであろう心情「寂しい」に迫るための問い『女の子』が理解した『寂しさ』とは、どのようなものか』が共有されました。今後は、「問い」の解決に向け、登場人物の役割、情景描写や色彩描写など、さまざまな叙述を根拠に、一人一人の子どもが童話の「読み」をつくりだそうと思えることができるようかかわりたいと思います。



2年B組は「ディズニーランドという聖地」という新書版の本を読み、作者が伝えたかった聖地のとらえを読みとり、説明文を創りあげました。

本時は、隣の仲間の説明文を読み、良かったところや改善点を見いだしました。その後、二人で改善できなかった構成の工夫や文章相互の関係、語句の使い方をクラスで考え共有し、自分の説明文の推敲活動に取り組みました。今後は、クラス全員の説明文を読み込み、どうすれば読み手に分かりやすく伝わる説明文になるのかを、クラスで考えていきたいと思います。

